

柏崎しんきん地区内経済指標

《第 200 回発行記念・特別号》

 柏崎信用金庫

平成 25 年 2 月吉日

各 位

柏 崎 信 用 金 庫
理 事 長 佐 藤 俊 雄
TEL 0257-24-3321
FAX 0257-22-7747

《柏崎しんきん地区内経済指標 第 200 回発行にあたり》

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、柏崎しんきん地区内経済指標につきましては、平成 8 年 4 月号を第 1 回目として、このたび平成 24 年 11 月号(平成 25 年 1 月発行)が第 200 回となりました。これも偏に皆様の温かいご理解の賜物と深く感謝申し上げます。

つきましては、「第 200 回発行記念・特別号」を発行致しましたので、ご覧いただきたく存じます。

これからも、柏崎しんきん地区内経済指標を、毎月発行してまいりますので引き続きご高覧いただければ幸甚に存じます。

今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

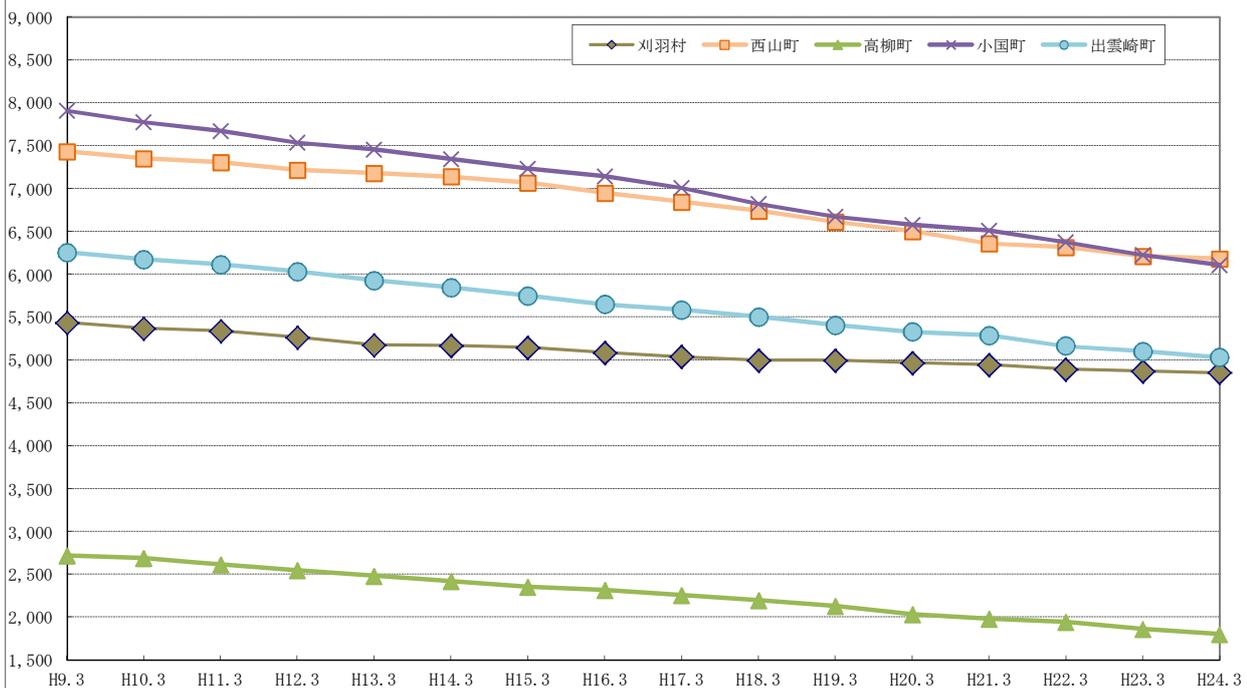
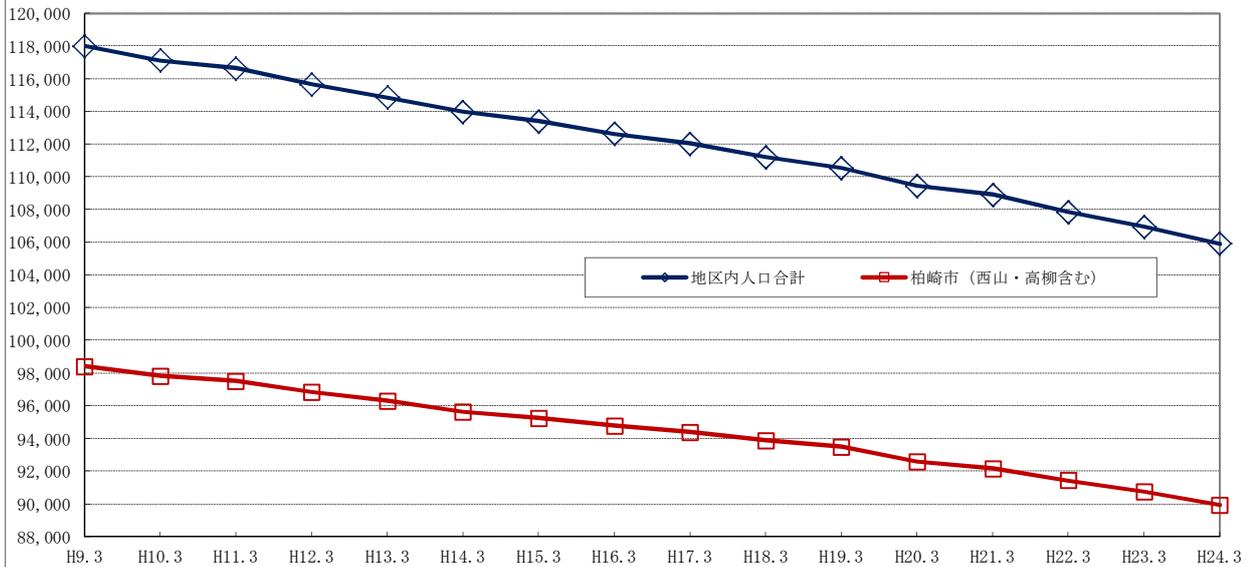
敬具

○柏崎地域の出来事

H8				H9				H10		H11				H12		H13		H14				H15						
4	7	7	10	1	4	7	7	5	10	4	8	10	10	5	5	3	4	6	3	4	4	10	10	3	4	9	10	
温泉「ソルト・スパ潮風」が竣工	新市立図書館「ソフィアセンター」が開館	「柏崎トルコ文化村」がオープン	柏崎市と東村山市が姉妹都市提携	ロシアタンカーの重油が漂着	「西山ふるさと公苑」が完成	柏崎刈羽原発が全号機完成	「シーユース雷音」が完成	「柏崎ぶどう村」にワイナリーがオープン	柏崎ショッピングモール「フォンジェ」開店	柏崎刈羽原発プルサーマル計画を市などが事前了解するも東海村	臨界事故で実施1年延期となる	国道8号柏崎バイパスが着工	刈羽村「ラピカ」が竣工	柏盛座が閉館	刈羽村「ラピカ」に不正工事問題	小国町が大規模墓地建設問題で議会解散	東本町再開発事業が完了	「新潟日本電気」を「富士ゼロックス」に譲渡	東本町に「市民プラザ」がオープン	「ふるさと人物館」や「こどもの時代館」がオープン	柏崎総合高校開校	大相撲柏崎場所開催	北朝鮮拉致被害者の蓮池薫さん・祐木子さん夫妻が帰国	国道8号柏崎バイパスが一部供用開始	柏崎高校が選抜高校野球に出場	中高一貫校（柏崎翔洋中等教育学校）開校	綾子舞伝承500年祭開催	東柳田に大型商業施設がオープン
H16			H17		H18			H19			H20			H21			H22		H23		H24							
7	10	10	5	6	5	6	12	4	6	7	7	4	7	12	5	9	10	1	2	7	9	1	1	3	1	1	3	
豪雨災害	「岡本硝子」の市内進出決定	中越地震	柏崎市と西山町・高柳町が合併	2年連続豪雨災害	番神・西番神が「快水浴場百選」に決定	南鯖石郵便局で1100万円強盗事件	新「地蔵トンネル」が開通	「柏崎休日・夜間急患センター」が刈羽郡病院内でスタート	柏崎・夢の森公園が開園	「マリンスポーツセンター」、「観光交流センター」が開所	中越沖地震	「柏崎フロンティアパーク」分譲開始	「柏崎市ものづくり活性化センター」が開所	東芝が柏崎に新工場建設計画	中越沖地震で被災の柏崎刈羽原発7号機が営業運転再開	トキめき新潟国体開催	家庭ごみ有料化スタート	国道352号に「椎谷岬トンネル」が開通	国道352号に新「安政橋」が開通	大型商業施設「柏崎コマタウン」が小松跡地にオープン	「柏崎フロンティアパーク」で東芝の新型電池工場完成	2年連続の豪雪	第2回全国ご当地どんぶり選手権で「鯛茶漬け」が3位	東日本大震災・福島第一原発事故で福島などから多数の避難者	第3回全国ご当地どんぶり選手権で「鯛茶漬け」が準グランプリ	市が豪雪対策本部、市全域に災害救助法適用	柏崎刈羽原発が6号機定検で全号機停止	

○人口状況

単位:人



(資料出所 : 柏崎市、各市町村)

平成24年3月の人口は平成9年3月に比べ、すべての市町村・地区で減少している。柏崎市が98,417人から89,940人(8,477人、8.61%減少)、刈羽村が5,433人から4,851人(582人、10.71%減少)、小国地区が7,909人から6,104人(1,805人、22.82%減少)、出雲崎町が6,257人から5,030人(1,227人、19.61%減少)となっている。

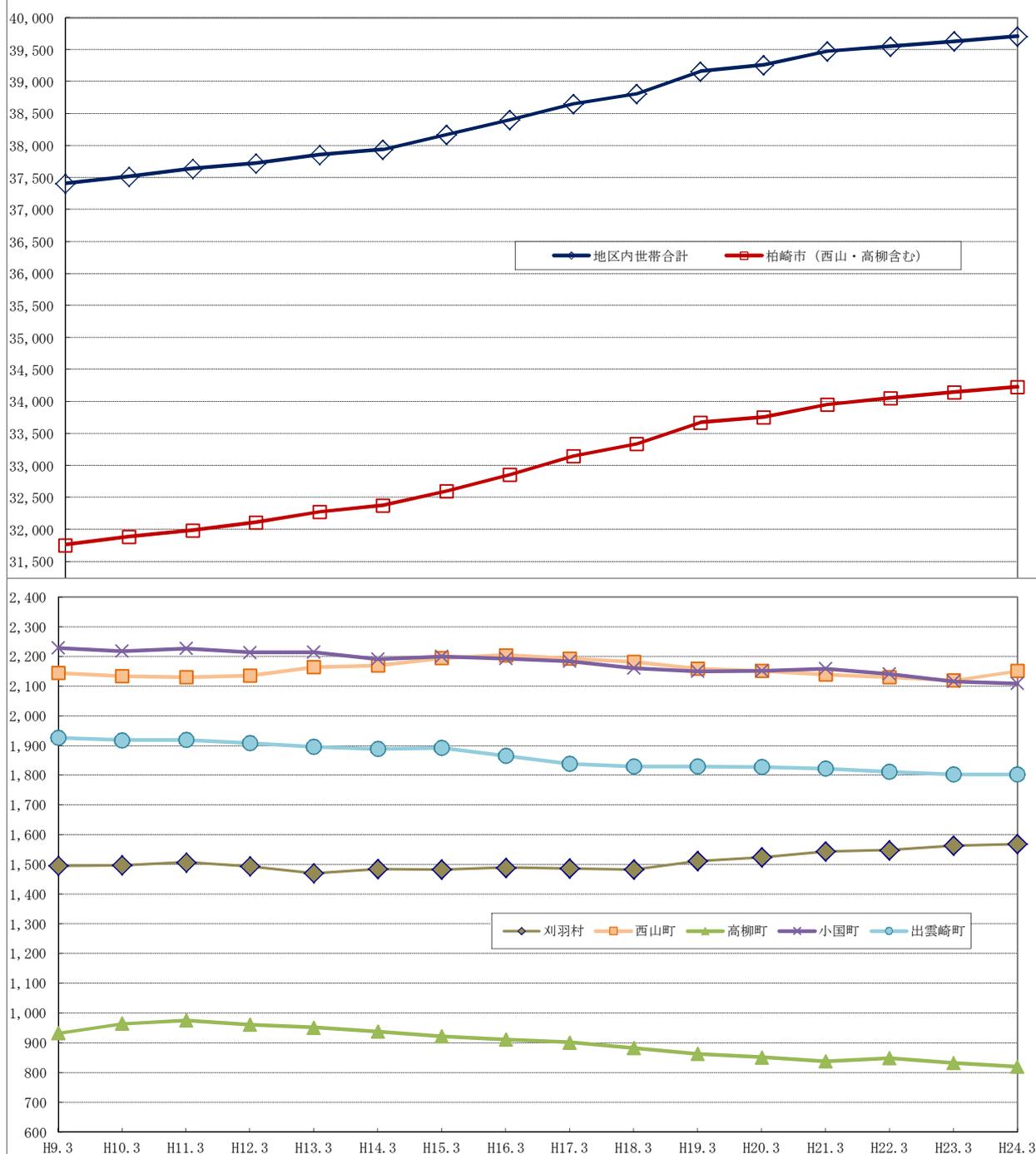
また、西山町は、7,434人から6,183人(1,251人、16.83%減少)、高柳町は2,720人から1,799人(921人、33.86%減少)となっている。

全体では、118,016人から105,925人(12,091人、10.25%減少)となっている。

なお、市町村合併により、平成17年5月に西山町と高柳町が柏崎市と合併したため、柏崎市の合計は、西山町と高柳町を含んだ計数となっております。

○世帯状況

単位:世帯



(資料出所 : 柏崎市、各市町村)

平成24年3月の世帯数は、平成9年3月に比べ、柏崎市が31,759世帯から34,228世帯(2,469世帯、7.77%増加)、刈羽村が1,496世帯から1,569世帯(73世帯、4.88%増加)となったが、小国地区で2,228世帯から2,109世帯(119世帯、5.34%減少)、出雲崎町で1,926世帯から1,803世帯(123世帯、6.39%減少)となっている。

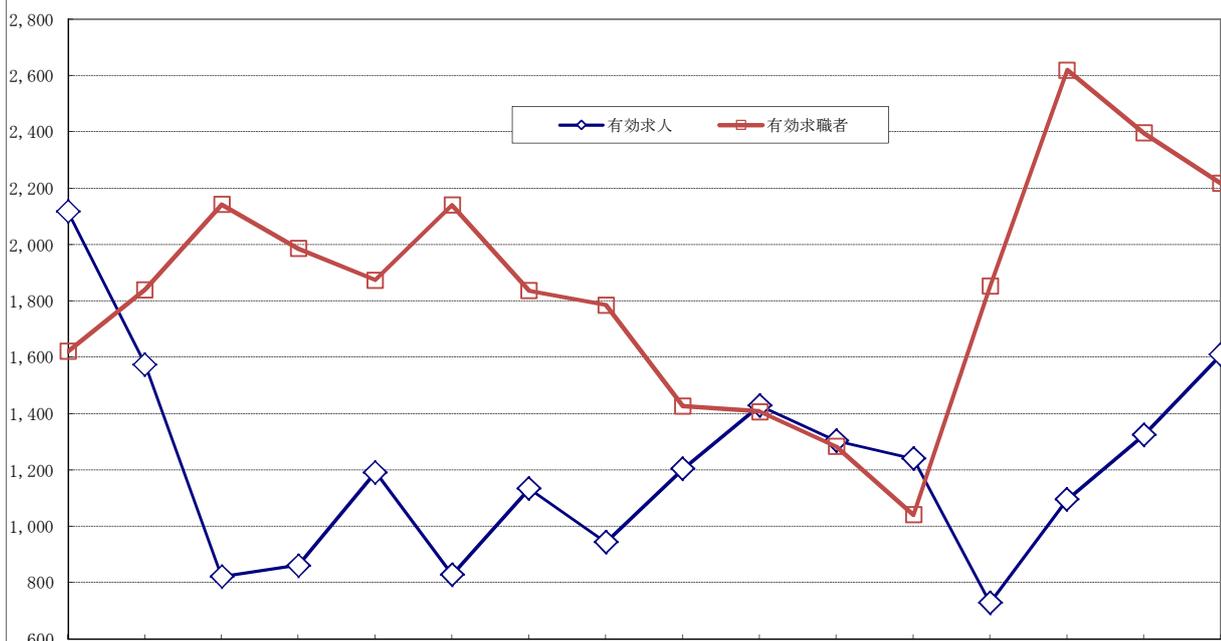
また、西山町は、2,144世帯から2,152世帯(8世帯、0.37%増加)となっているが、高柳町は932世帯から819世帯(113世帯、12.12%減少)となっている。

全体では、37,409世帯から39,709世帯(2,300世帯、6.15%増加)となっている。

なお、市町村合併により、平成17年5月に西山町と高柳町が柏崎市と合併したため、柏崎市の合計は、西山町と高柳町を含んだ計数となっております。

○労働需給状況

単位：人、%

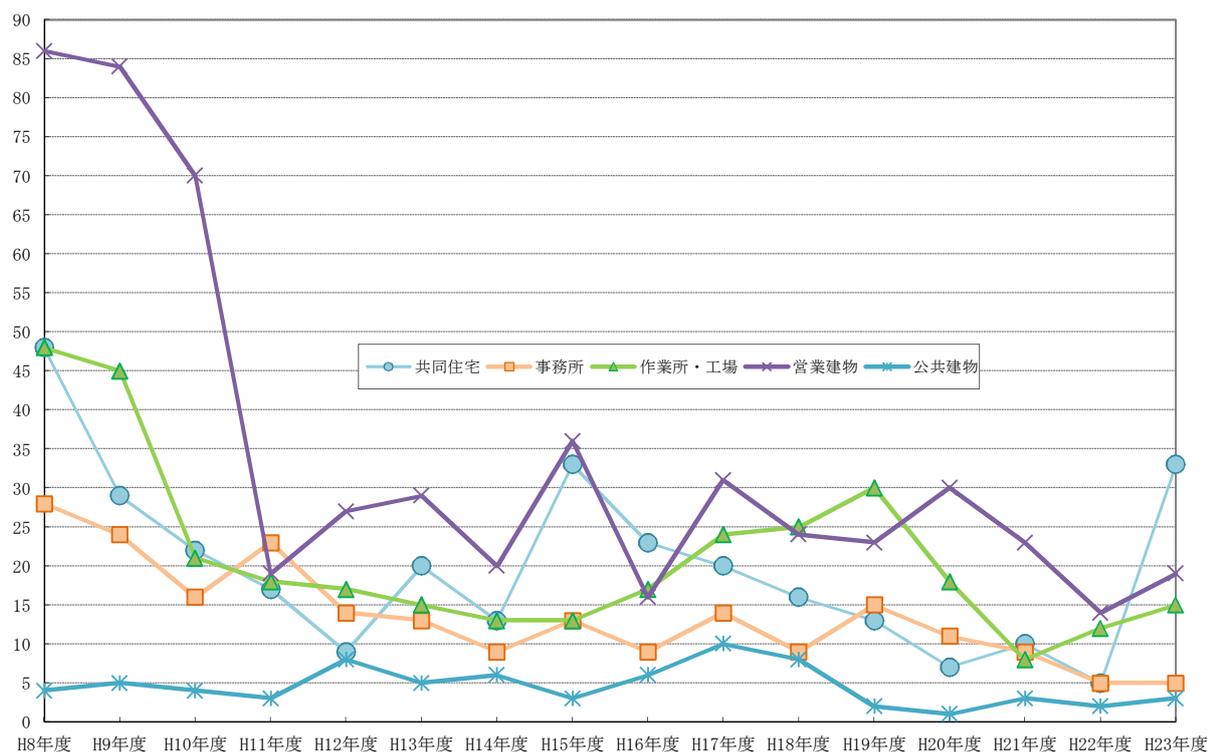
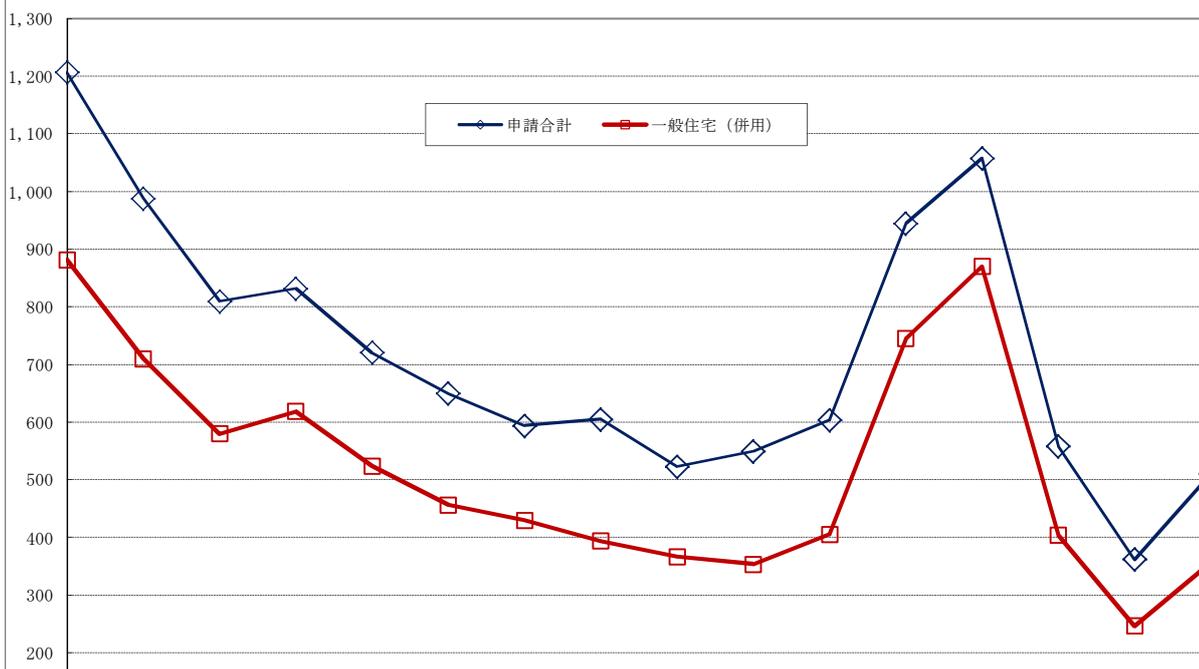


(資料出所：ハローワーク柏崎)

平成9年3月の柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人人数が2,117人で有効求職者数が1,622人となっており、有効求人倍率は1.31倍でしたが翌年の平成10年3月は、有効求人倍率が0.86倍と悪化しており、平成17年3月まで求職者数が求人者数を上回っている。平成18年3月に求人者数が1,428人で求職者数が1,407人となり有効求人倍率は1.01倍と回復したものの、平成20年9月のリーマン・ショックの影響により、平成21年3月は求人者数が729人で求職者数が1,852人と増加したため有効求人倍率は、0.39倍となり大幅に悪化している。平成22年3月以後、有効求人倍率は回復基調にあり平成24年3月の労働需給状況は、有効求人倍率が0.73倍となり前年より0.18ポイント回復したものの、依然として雇用状況は厳しい状況にある。

○建築確認申請状況

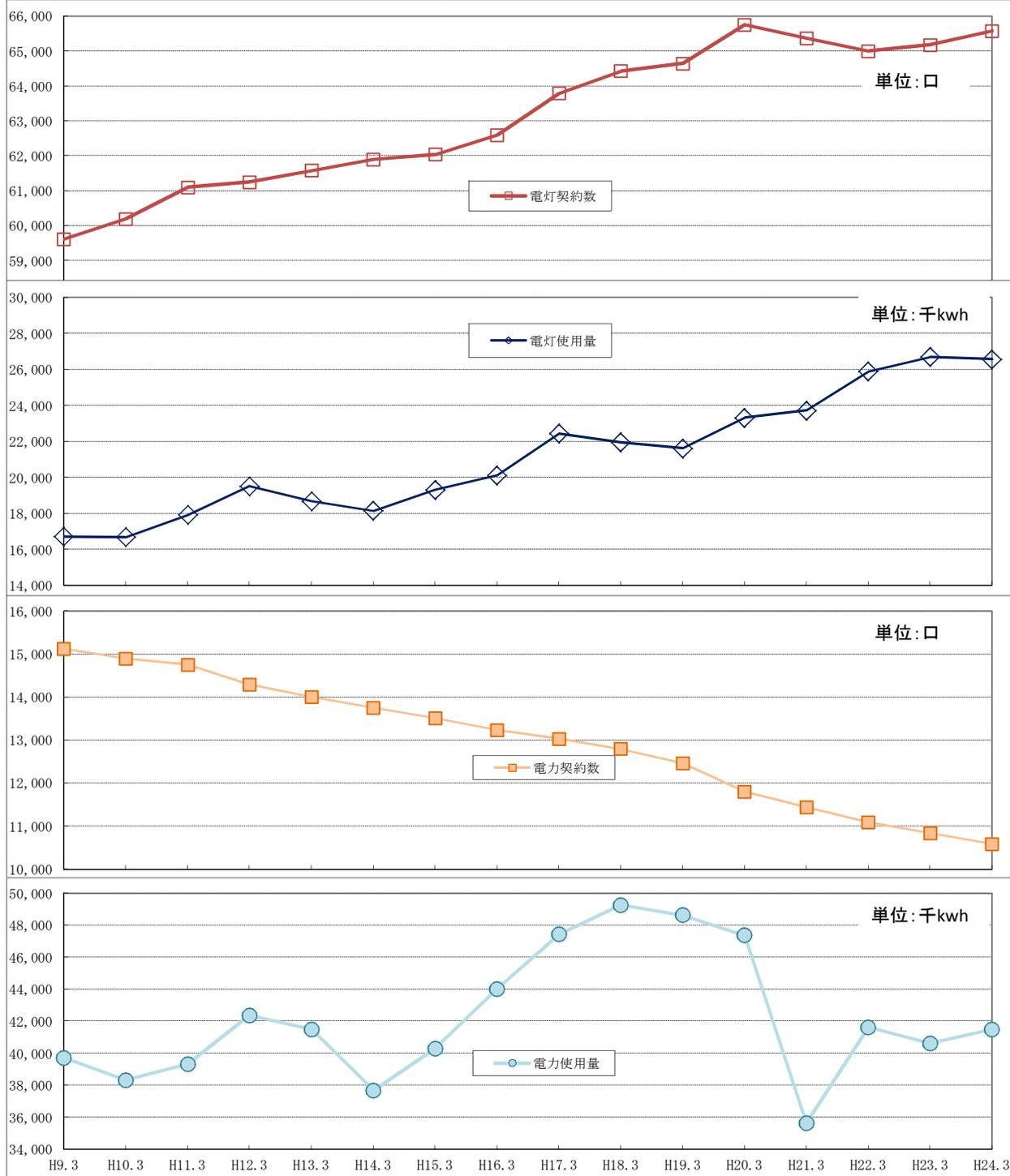
単位:件



(資料出所 : 柏崎市建築住宅課)

平成8年度の建築確認申請合計は、1,207件(一般住宅882件)でしたが、翌年の平成9年度から減少し、平成18年度まで低調に推移していたが平成19年7月の中越沖地震の影響により、平成19年度の申請合計が945件、(一般住宅745件)、平成20年度の申請合計が1058件、(一般住宅870件)と一般住宅の増加により大幅な増加となっている。また、中越沖地震による一般住宅の新築等が終了したことによる反動から、平成21年度には申請合計558件、(一般住宅404件)と大幅に減少しており、平成22年度は、申請合計が362件、(一般住宅247件)となり、統計を取り始めた平成8年度以降最低件数となっている。

○電力使用量状況



(資料出所 : 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

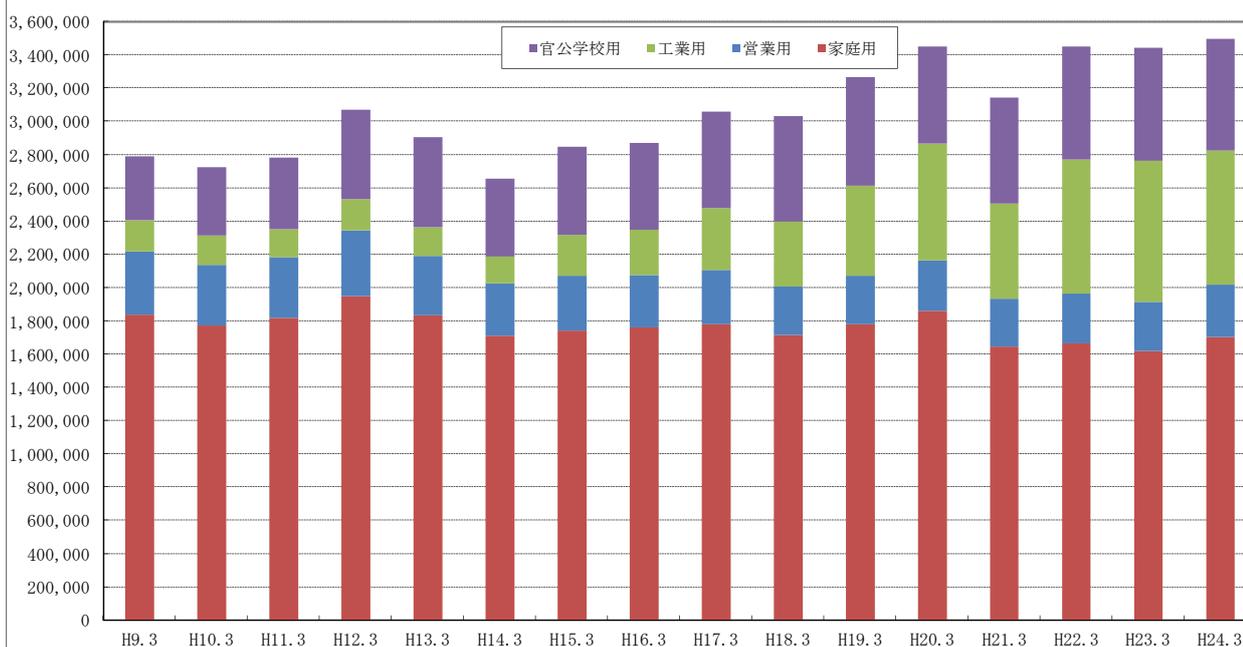
平成9年3月の電灯契約数は、59,611口でしたが年々増加傾向にあり、平成24年3月には65,579口となり5,968口、10.01%増加している。電灯使用量については16,712kwhでしたが、26,578kwhとなり59.03%大幅に増加している。

一方、電力契約数は、平成9年3月が15,123口でしたが、平成24年3月には10,590口となり29.98%の大幅な減少となっている。電力使用量については、39,714kwhでしたが41,484kwhとなり4.46%増加している。

なお、平成21年3月は、リーマンショックの影響による企業の売上減少により35,636kwhとなり前年同月比11,728kwh、24.76%の大幅な減少となっている。

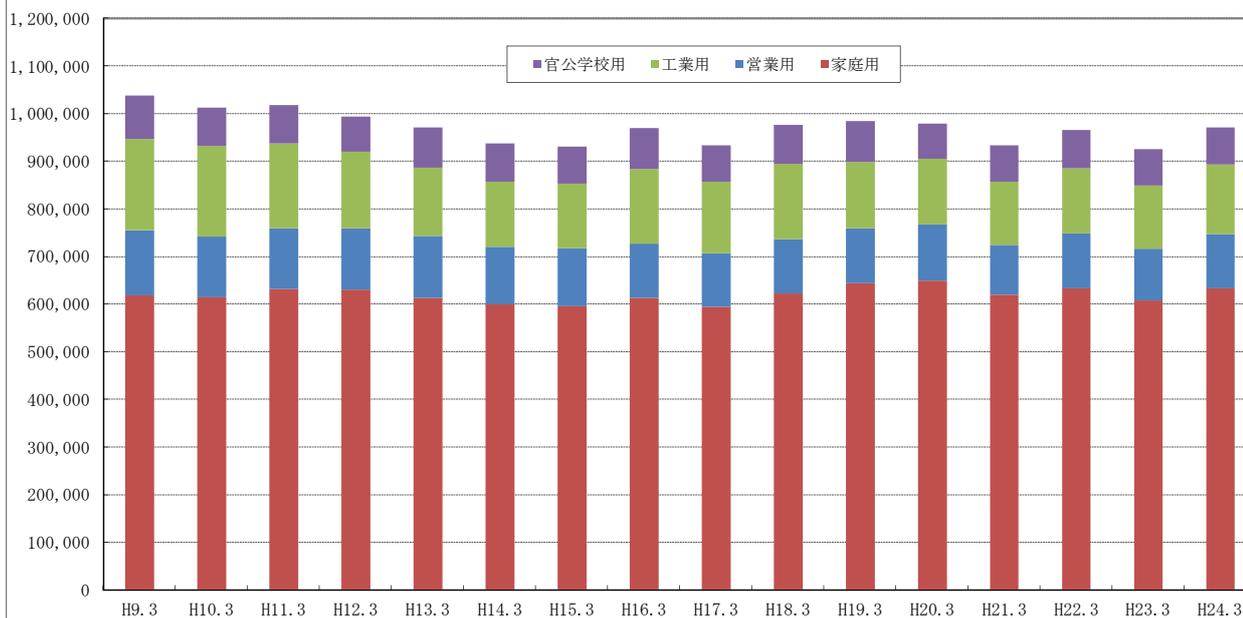
○ガス供給量状況

単位: m³



○水道給水量状況

単位: m³



(資料出所 : 柏崎市ガス水道局)

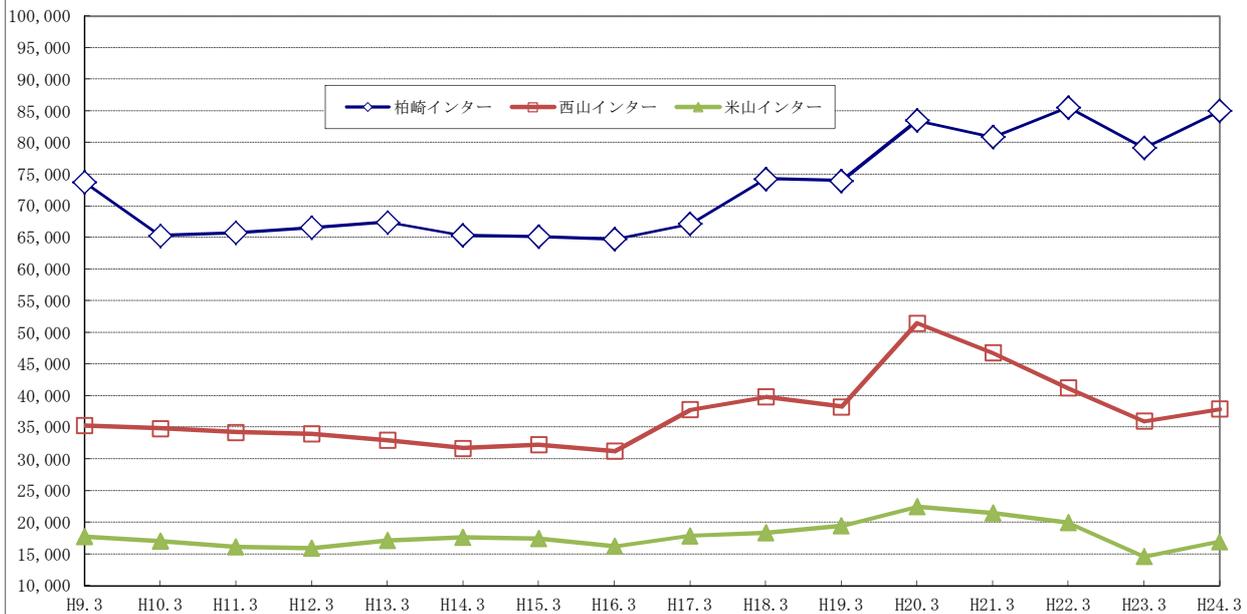
柏崎地域でのガス供給量は、平成9年3月が用途合計で2,792,055m³でしたが、平成24年3月は、3,496,976m³となり25.25%増加している。用途別内訳を見ると、家庭用が1,838,852m³から1,704,324m³と7.32%減少し、営業用が380,857m³から313,566m³、と17.67%減少したが、工業用が186,741m³から808,266m³と、332.82%大幅に増加しており、官公学校用も385,605m³から670,820m³、となり73.96%増加している。

一方、水道給水量は、平成9年3月が用途合計で1,039,982m³でしたが、平成24年3月は、971,101m³となり6.62%減少している。用途別内訳を見ると、家庭用が618,428m³から634,301m³と2.57%増加したが、営業用が137,493m³から113,417m³と17.51%減少となり、工業用が190,917m³から146,019m³と23.52%減少し、官公学校用も92,231m³から77,304m³と16.18%減少している。

○北陸自動車道利用状況

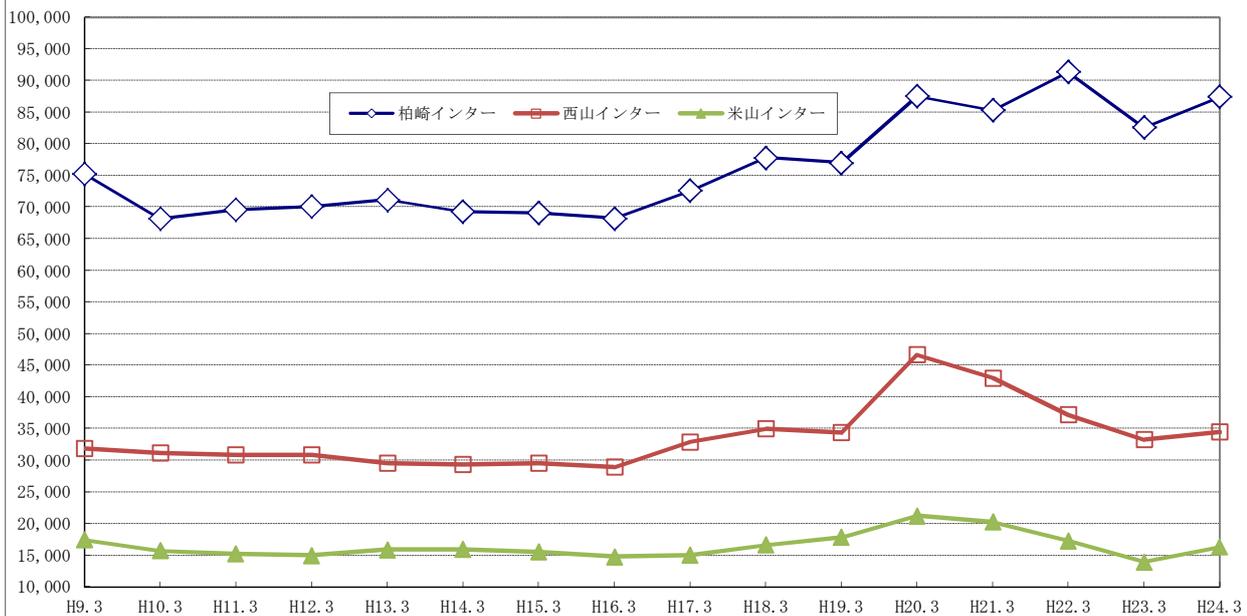
(入口)

単位:台



(出口)

単位:台



(資料出所 : 柏崎市産業振興部観光交流課)

高速道路出入口の交通量は、平成9年3月が入り全体で、126,621台でしたが、平成24年3月は、139,872台となり10.46%増加している。インター別で見ると、柏崎が73,653台から85,013台と15.42%増加し、西山も35,281台から37,907台と7.44%増加しているが、米山は17,687台から16,952台と4.16%減少している。

一方、出口全体では、124,377台でしたが、138,157台となり11.08%増加している。インター別で見ると、柏崎が75,190台から87,439台と16.29%増加し、西山も31,812台から34,460台と8.32%増加となったが、米山は17,375台から16,258台となり6.43%減少している。出入口とも柏崎、西山で増加し、米山は減少している。

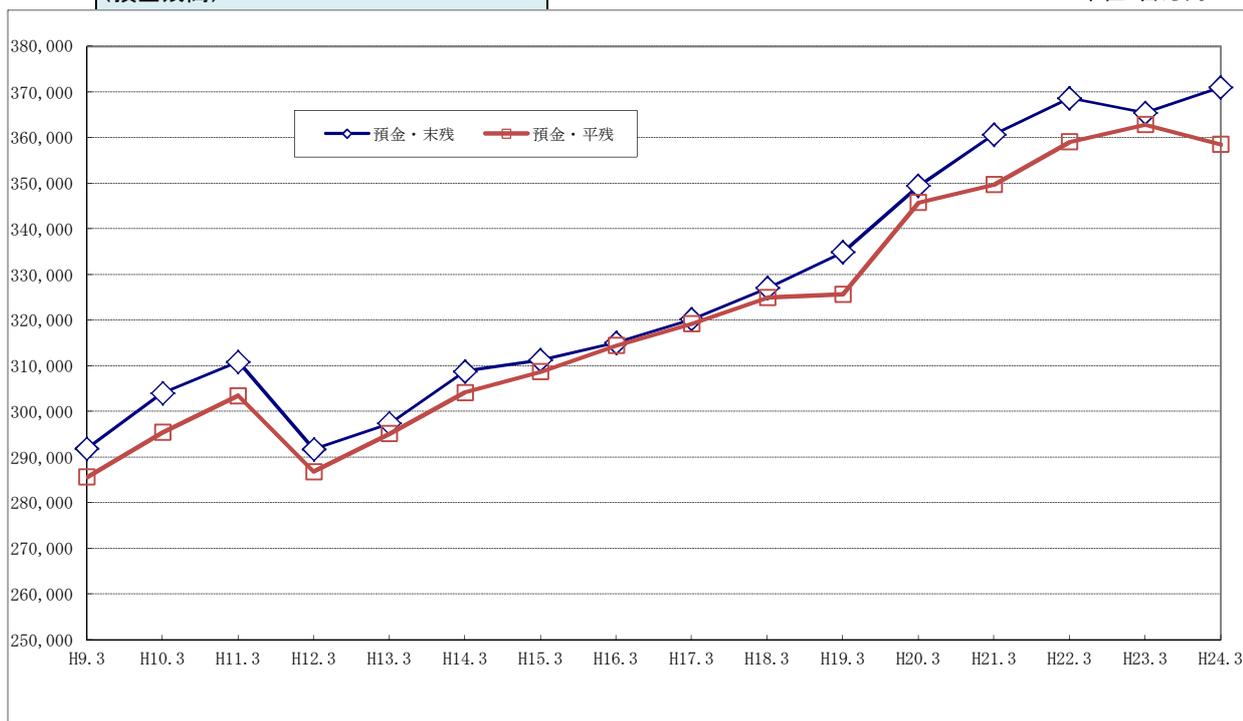
なお、平成20年3月は、中越沖地震の影響により出入口とも全てのインターで増加している。

また、平成21年3月からの高速道路無料化実験により、平成22年3月は柏崎で増加しているが、西山、米山では減少している。

○市内金融機関預貸金残高状況

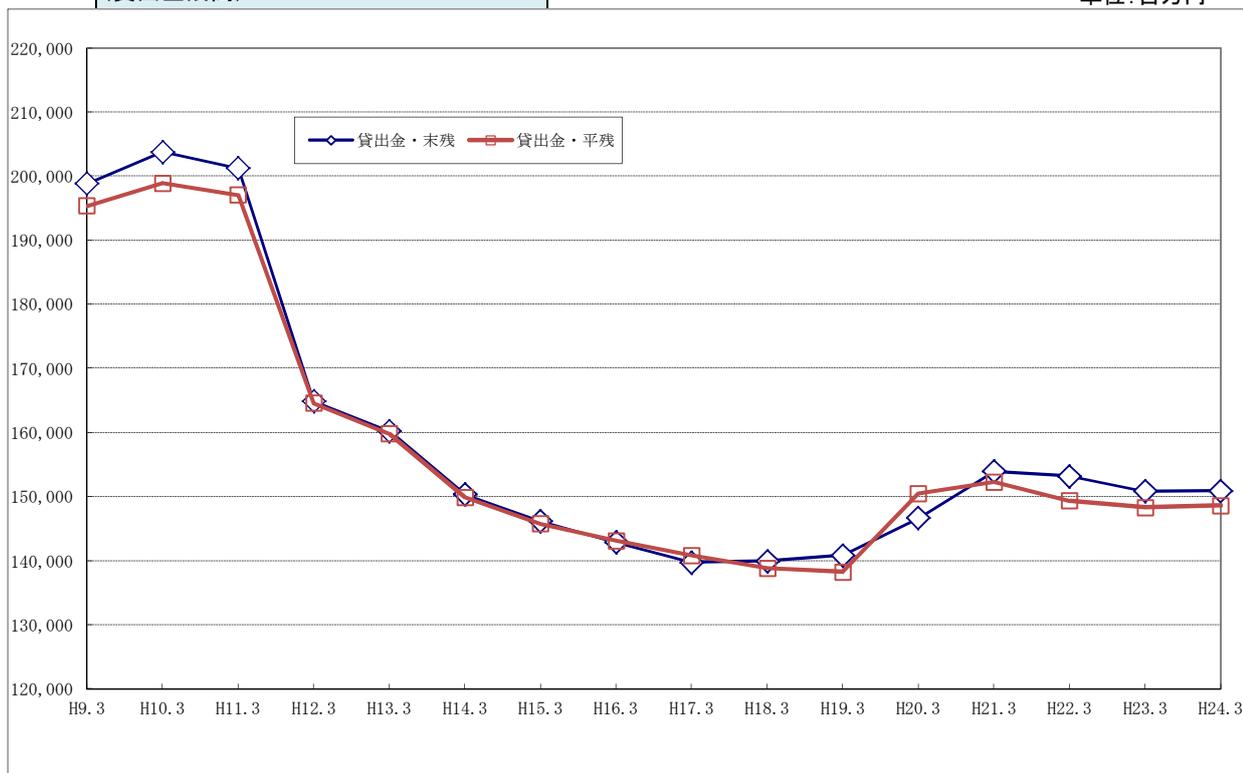
(預金残高)

単位: 百万円



(貸出金残高)

単位: 百万円



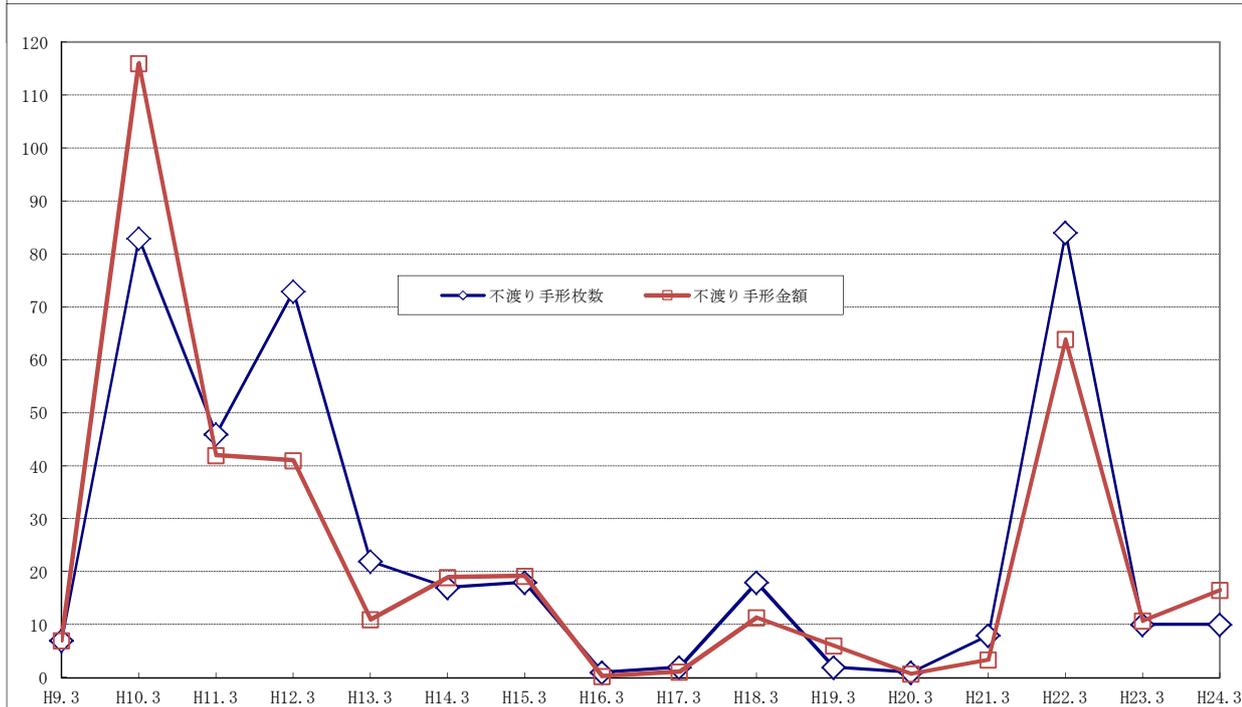
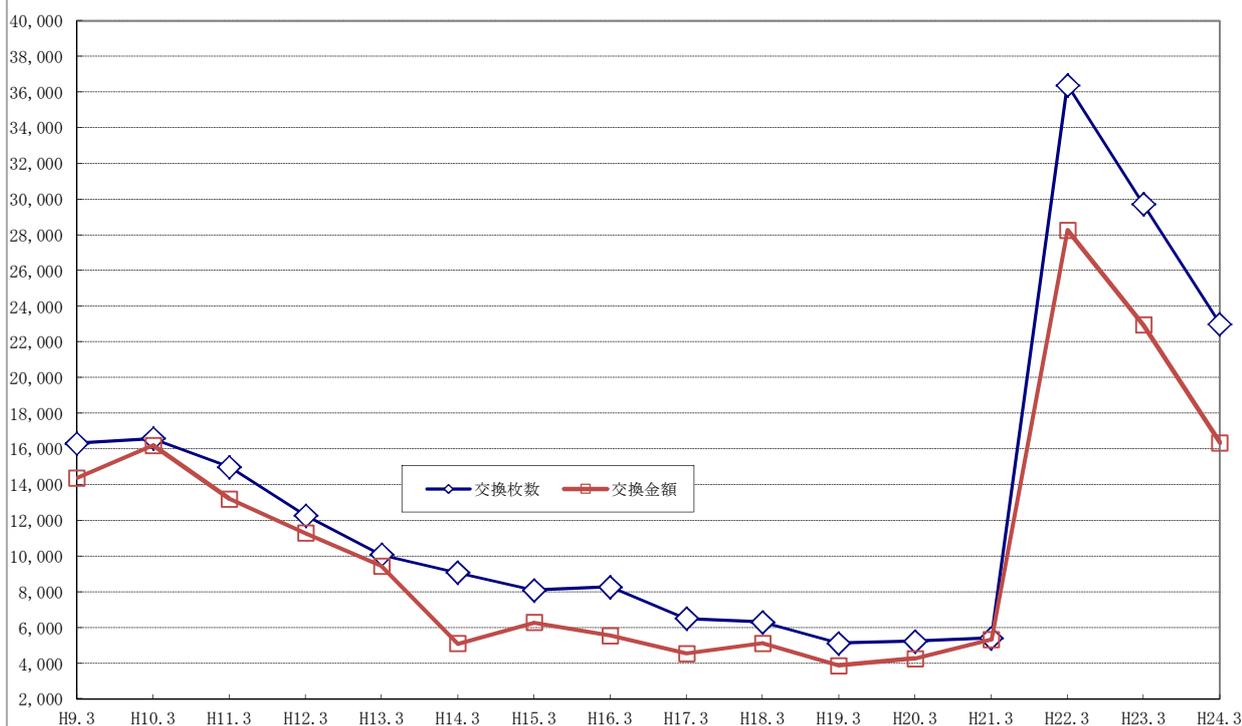
平成9年3月の預金末残は291,829百万円でしたが、平成24年3月は、371,053百万円となり79,224百万円、27.15%増加している。また、平残は285,636百万円でしたが、358,501百万円となり72,865百万円、25.51%増加している。

一方、貸出金末残は198,872百万円でしたが、150,884百万円となり47,988百万円、24.13%減少している。また、平残は195,395百万円でしたが、148,585百万円となり46,810百万円、23.96%減少している。

なお、平成12年3月に預金末残が、前年同月比19,172百万円、貸出金末残は36,367百万円と大幅に減少しているが、平成11年10月の新潟中央銀行の破綻処理によるものです。

○手形交換高状況

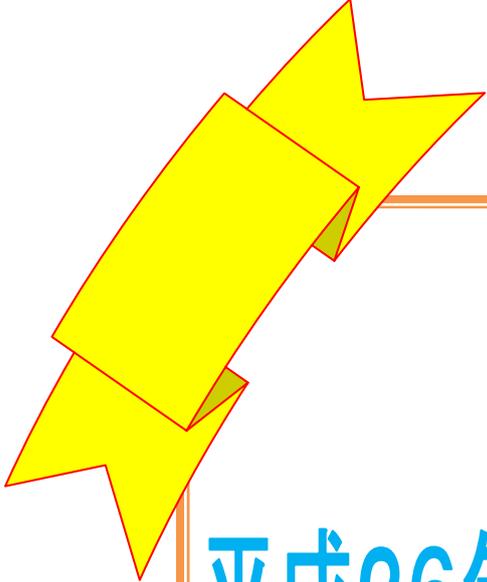
単位：枚、百万円



(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所が平成21年3月31日に廃止となり、平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されている。平成9年3月は、交換枚数が16,315枚で14,397百万円でしたが、平成21年3月は交換枚数が5,411枚で5,350百万円となり大幅に減少している。また、長岡手形交換所に統合された平成22年3月は、交換枚数が36,393枚で28,267百万円でしたが、景気低迷から企業を取り巻く環境は厳しさを増しており、平成24年3月は、交換枚数が23,007枚で16,352百万円となり、13,386枚、11,915百万円の大幅な減少となっている。

なお、不渡り手形は、平成10年3月が83枚、116百万円発生しており、平成22年3月に84枚、64百万円発生している。



平成26年1月創立90年を迎えます

お客様と歩んできた90年



~これからも地域の皆様と共に~

 柏崎しんぎん

